

対話でつなぐ授業 一考察

岩瀬 竜弥



指導員訪問④ 3年 外国語活動 「What do you like? 何が好き？」 馬場 美津紀 教諭

3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科への完全実施が半年後に。外国語活動を始めて半年過ぎた3年生で、STとともに授業に臨んだ馬場教諭。本時では、①進んで英語を使い、多くの仲間と会話する姿、②英語表現を知り、使うことができたかどうか为目标です。「正しい」言語表現の使用よりもむしろ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力をどう育てるか、指導のポイントとなります。

馬場教諭は、子供たちの発想の面白さ、豊かな心、そんな多様な子供の魅力に引かれました。幼稚園教諭となり、子供たちの成長を身近に感じたいと考えていました。ところが、高校で英語の楽しさにはまり、「これから大切なのは小学校英語だ！」と。現在、英語のよさ、すばらしさを将来、世界に羽ばたく目の前の子供たちに伝えています。

さて、本時では、まず既出の英単語の復習。発音、ミッシングゲーム、チャンツで「色編」「果物編」「食べ物編」を。そして、学級の仲間「シークレットバーソン」4名を当てるために、「What



do you like? I like ○○」を使って互いにインタビューをして情報収集へと進みました。好きなもの(①fruit ②color ③sport)を訪ねるために、まず、HRTとSTがデモンストレーションを。HRTと子供、そして子供同士のペア対話へ。

ここで一度、素敵なペアを取り上げ、[Smile][Big Voice][Reaction]の大切さを確認して、次はフリー対話へ。初めは男の子同士、女の子同士で行っていたインタビューが、できるだけ多くの子へと意識も変わってきました。つまり、いつもお話

をする子以外の子へと広がっていったのです。そこでは、簡単に伝わらない場面が出てきました。

例えば、右のように、繰り返し強調する姿が見られました。今まで蓄えてきた知識や技能を活用し、どの語句や表現を使うとよりよく伝

C1 : Hello What fruit do you like?
 C2 : I like tofu.,
 C1 : え?? (聞き取れない)
 C2 : (ゆっくりと、ジェスチャーで)
 tofu tofu (トーフーと強調して)
 C1 : ああ! What color . . .
 (ペア対話: 授業記録より)



わるか、子供が考え始めています。ぜひ取り上げたい場面ですね。

「○○さんの好きなスポーツを初めて知った。」「仲よしの子でも違った。想像を超えていた。」外国語活動を通じて、他者の違った価値観に気付いたり、共感したりする姿が生まれました。